

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年9月10日

事業者名: 株式会社 BLUE

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	再生可能エネルギーの導入 オフィスに太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの売電を行うことにより、温室効果ガス排出を削減しています。 グリーン物流の推進 ハイブリッド車を導入することで、輸送に伴うCO2排出量を削減しています。 ペーパーレスオフィスの導入 クラウドストレージや電子署名システムを導入し、書類をデジタルで管理することにより、紙の使用量を削減し、印刷に伴うエネルギー消費や廃棄物を削減しています。	⑫つくる責任、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑬気候変動に具体的な対策を	グリーンエネルギーの選択 オフィスで使用する電力の約30%は再生可能エネルギーに切り替え、CO2排出削減に成功。 ペーパーレスオフィスの導入 電子署名やクラウドストレージの導入により、年間で紙の使用量を50%削減。 グリーン物流の推進 ハイブリッド車を導入することにより、輸送に伴うCO2排出量を年間で約50%削減。これにより燃料コストも30%削減されています。	指標	ペーパーレスオフィスの導入 さらに紙の使用量や印刷コストの大幅な削減を目指し、デジタル化を進めていきます。 グリーン物流の推進 今後さらにハイブリッド車の割合を増やす計画です。
				目標	2030年までに、紙の使用量をさらに20%削減し、合計70%削減を達成。 ハイブリッド車および電気自動車の導入比率100%を徹底する。 CO2排出量削減目標：輸送に伴うCO2排出量を年間60%削減（現状からさらに10%削減）。 燃料コスト削減目標：燃料コストを現在の30%からさらに40%削減。
社会	健康と福祉の向上 社員のメンタルヘルスやワークライフバランスの向上を目指し、定期的な健康チェックやメンタルヘルスケアプログラムの提供。また、オフィス内での健康的な食事やフィットネス設備の導入を進める。	③すべての人に健康と福祉を、⑩住み続けられるまちづくりを、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	健康的な食事の提供 オフィス内にて、バランスの取れた食事メニューを提供。社員の健康志向が高まりました。 フィットネス設備の導入 社内に簡易フィットネス設備を導入し、利用者数は50%に達しています。フィットネスプログラムに参加した社員の健康指標は、平均で10%向上しました。	指標	カフェテリアを設置、社員がカフェテリアを利用するよう促進。 社員の健康指標（BMI、血圧）の改善率を増加させることを目指す。 フィットネス設備の利用者率を引き上げる。
				目標	提供するメニューの栄養バランス評価で、社員の健康指標（BMI、血圧）を10%改善 フィットネス設備の利用者率を35%に引き上げ 運動習慣がない社員のフィットネスプログラム参加率を15%に増加 利用者の健康指標（体力、血圧、体脂肪率）を10%改善 コスト効率の改善
経済	コスト効率の改善 リソースの無駄を削減し、効率的な運営を通じてコストを最適化する。例えば、エネルギー効率の良い設備の導入や、クラウドサービスを利用したITコストの削減などが含まれる。 イノベーションと技術の導入 新技術や革新的なソリューションを活用して、業務の効率化や製品・サービスの品質向上を図る。これにより、競争力を高め、経済的な利益を最大化する。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任、⑧働きがいも経済成長も	エネルギー効率の良い設備の導入 オフィスの照明と冷暖房にエネルギー効率の良いLED設備を導入し、年間でエネルギーコストを20%削減 クラウドサービスの利用 ITインフラをクラウドサービスに移行し、従来のオンプレミスシステムに比べてITコストを年間で30%削減 イノベーションと技術の導入 自動化ツールやAI分析ツールを導入し、業務の効率化を図った結果、業務処理時間を年間で15%短縮	指標	・年間エネルギーコスト削減率 ・ITコスト削減率 ・イノベーションと技術の導入 ・業務プロセスの処理時間短縮率 ・顧客満足度向上率
				目標	コスト効率の改善 2030年度までにエネルギーコストを20%削減する。 2030年度までにITコストを20%削減する。 イノベーションと技術の導入 業務プロセスの処理時間短縮率：2030年度までに業務プロセスの処理時間を30%短縮する。 2030年度までに顧客満足度を10%向上させる。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載> SDGsに関する教育：定期的にSDGsに関する教育や研修を実施し、全従業員がSDGsの目標や取組み内容を理解し、実践するように促しています。 定期的なミーティング：各部門やチームでの定期的なミーティングを通じて、SDGsに関する進捗や問題点を確認し、情報を共有しています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 事務所受付にSDGsの取組内容を掲示しています。			